

調整点検証精度管理表(水平位置)

世界測地系(測地成果○○○○)

地区名		○○○○		主任技術者		○○ ○○		
				点検者		○○ ○○○		
番号	点名	調整点の 水平座標		オリジナルデータの 水平座標		調整点と 三次元計測データの差		
		X (①)	Y (②)	X (③)	Y (④)	ΔX (③-①)	ΔY (④-②)	ΔXY
1	39	-11636.068	-20403.671	-11636.072	-20403.656	0.004	-0.015	0.016
2	41	-11543.894	-20503.900	-11543.887	-20503.898	-0.007	-0.002	0.007
3	43	-11464.748	-20589.489	-11464.755	-20589.486	0.007	-0.003	0.008
4	45	-11410.128	-20675.218	-11410.11	-20675.188	-0.012	-0.003	0.012
5	47	-11395.782	-20664.643	-11395.788	-20664.654	0.006	0.011	0.013
6	49	-11354.632	-20708.328	-11354.637	-20708.327	0.005	-0.001	0.005
7	51	-11273.662	-20792.884	-11273.665	-20792.871	0.003	-0.013	0.013
8	53	-11208.332	-20867.210	-11208.333	-20867.209	0.001	-0.001	0.001
9	55	-11141.887	-20930.051	-11141.884	-20930.052	-0.003	0.001	0.003
10	57	-11106.012	-20958.054	-11106.004	-20958.060	-0.008	0.006	0.010

	データ数	平均値(m)	最大値(m)	最小値(m)	最大値－ 最小値	標準偏差 = $\sqrt{\frac{\Sigma(\Delta X)^2}{n-1}}$
計測範囲全域の Xの差						

	データ数	平均値(m)	最大値(m)	最小値(m)	最大値－ 最小値	標準偏差 = $\sqrt{\frac{\Sigma(\Delta Y)^2}{n-1}}$
計測範囲全域の Yの差						

	データ数	平均値(m)	最大値(m)	最小値(m)	最大値－ 最小値	標準偏差 = $\sqrt{\frac{\Sigma(\Delta XY)^2}{n-1}}$
計測範囲全域の XYの差						

注 必要に応じて作成するものとする。

用紙の大きさはA4判とする。